

切迫流産・切迫早産

妊娠37週(正期産)に入ると、赤ちゃんがお腹の外で生活する準備が整います。しかし、赤ちゃんが正期産よりも早く生まれてしまうことがあります。22週未満での出産を流産、22週～36週の出産を早産といいます。切迫流産とは、流産・早産の兆候はあるけれど、まだお産は始まっておらず、お産を防ぐことの出来る状態です。

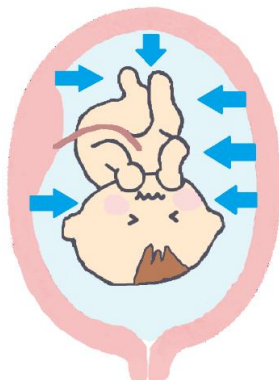
〈症状〉

- 下腹部痛もしくはお腹が硬くなるような張り
 : 安静で治まるようなら大丈夫です
 妊娠30週まで1時間に3回以上
 妊娠30週以降1時間に5回以上 } 収縮する場合は注意！
- 出血 : 赤色ではなくピンク色や茶色の場合もあります
- 破水 : 赤ちゃんを包んでいる卵膜が破れ、羊水が出てきます

〈予防〉

- 無理をせず安静にする
 →下腹部痛やお腹の張りを感じたら横になりましょう 治療
安静にしても治まらない場合は、病院へご連絡下さい
- 口の中を清潔にする
 →妊娠中はホルモンの影響で歯周病になりやすいです
 歯周病になると子宮収縮を促すホルモンが作られます
- 外陰部を清潔に保つ
 →妊娠中はおりものが増えますので、
 通気性の良い下着を使用しましょう

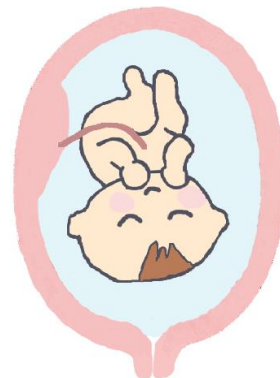
切迫流産・早産



子宮が収縮して
お腹が張った状態

治療

正常



子宮の収縮を抑えて
安静に！